

三角模様の縄文土器〜陣馬遺跡出土の注口土器〜

「縄文土器」という言葉を聞いた時、皆さんはどのような形の土器を想像されるでしょうか。鶏冠のような複雑な造形で飾られた華やかな土器を思い浮かべる方が多いかもしれません。そのような形の土器は、「火焰型土器」と呼ばれ、縄文時代を代表する土器の形の一つです。しかし、実は縄文時代に作られた土器は実に多彩で、縄目だけでなく、竹管や貝殻なども施文に用いられ、土器の形もさまざまです。

今回紹介する土器は、市内埼玉に位置する陣馬遺跡から出土した注口土器という種類の縄文土器です。欠けることなく、ほぼ完全な形で出土しました。注口土器とは器に注ぎ口が付いた土器のことです。

陣馬遺跡から出土したこの注口土器は、そろばん玉のような形の体部に、上向きの注ぎ口と2つの穴がある持ち手が付いています。もとは紐のようなもので吊り下げたのではないでしょう



陣馬遺跡出土の注口土器
(行田市郷土博物館蔵)

か。体部の上半分には、縄目で施された帯状の区画と沈線で施された渦を巻く三角形を組み合わせた複雑な模様が刻まれています。こうした形の注口土器は、堀之内2式といわれる土器形式に分類されます。千葉県の堀之内貝塚で出土した土器を標準の形とした土器形式で、縄文時代後期(約4千〜3千年前)の関東を中心に出土します。

注口土器は、中身の液体を注ぎ分ける用途の土器ですが、どうやら日常生活に用いる実用品とばかりはいえないようです。日本各地で出土する注口土器はいずれも底などに火を当てられた痕跡はなく、注ぎ口も上部に付いている場合が多くて、あまり使い勝手は良くなさそうです。おそらく何かの祀り

ことなどに用いられた特別な土器だったのではないのでしょうか。
この注口土器は、現在、常設展示室に展示されています。その繊細な模様に縄文の人々の祈りが込められていると思うと、思わずじつくりと見入ってしまうことでしょう。
(郷土博物館 浅見貞子)

はじめまして

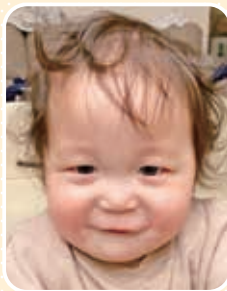


令和2年7月生まれのお子さんを募集します

- 5月6日(木)〜31日(月)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、6月3日(木)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和2年5月生まれのおともだち



上原 颯太ちゃん(谷郷)
令和2年5月5日生まれ
父・功さん 母・優季さん
「これからも笑顔で元気にすくすく育ってね♡」



長島 杏紗ちゃん(埼玉)
令和2年5月5日生まれ
父・勇樹さん 母・亜耶さん
「沢山の笑顔がありがとう!!」



宮澤 香鳳莉ちゃん(谷郷)
令和2年5月10日生まれ
父・謙一さん 母・由季子さん
「我が家の笑顔姫♡ 大好きだよ♡」



松本 眞依ちゃん(藤原町)
令和2年5月29日生まれ
父・直樹さん 母・昌恵さん
「あなたは私達の天使です」



佐々木 雷ちゃん(持田)
令和2年5月26日生まれ
父・慶さん 母・寿々葉さん
「いっぱい笑顔をお見せしたい♡ ありがとう♡」



島田 実良ちゃん(押上町)
令和2年5月13日生まれ
父・和紀さん 母・慶美さん
「産まれて来てくれてありがとう♡愛してるよ♡」

今月の表紙

昨年からはじめた花手水は、ライトアップイベントも月1回実施され、現在、市内外から大きな注目を集めています。

また、このたび、観光物産館「ぶらっと♪ぎょうだ」がリニューアルオープンし、地域の物産を通して、市内がにぎやかになることが期待されます。

今年には行田の「観光元年」の幕開け。魅力あふれる行田の街を散策してみませんか。



目指せ! 友だち登録10,000人!
(現在7,300人)

行田市公式LINEの友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい植物油インク

市報ぎょうだは再生紙を使用しています